

# 京都議定書の概要

1997年12月、京都で開催された「地球温暖化防止京都会議（COP3）」で、先進国（附属書Bにあげられる国々）から排出される温室効果ガスの具体的な削減数値目標や、その達成方法などを定めた「京都議定書」が合意され、2005年2月16日に発効しました。

## ● 対象ガス（6ガス）

二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、HFC、PFC、SF6

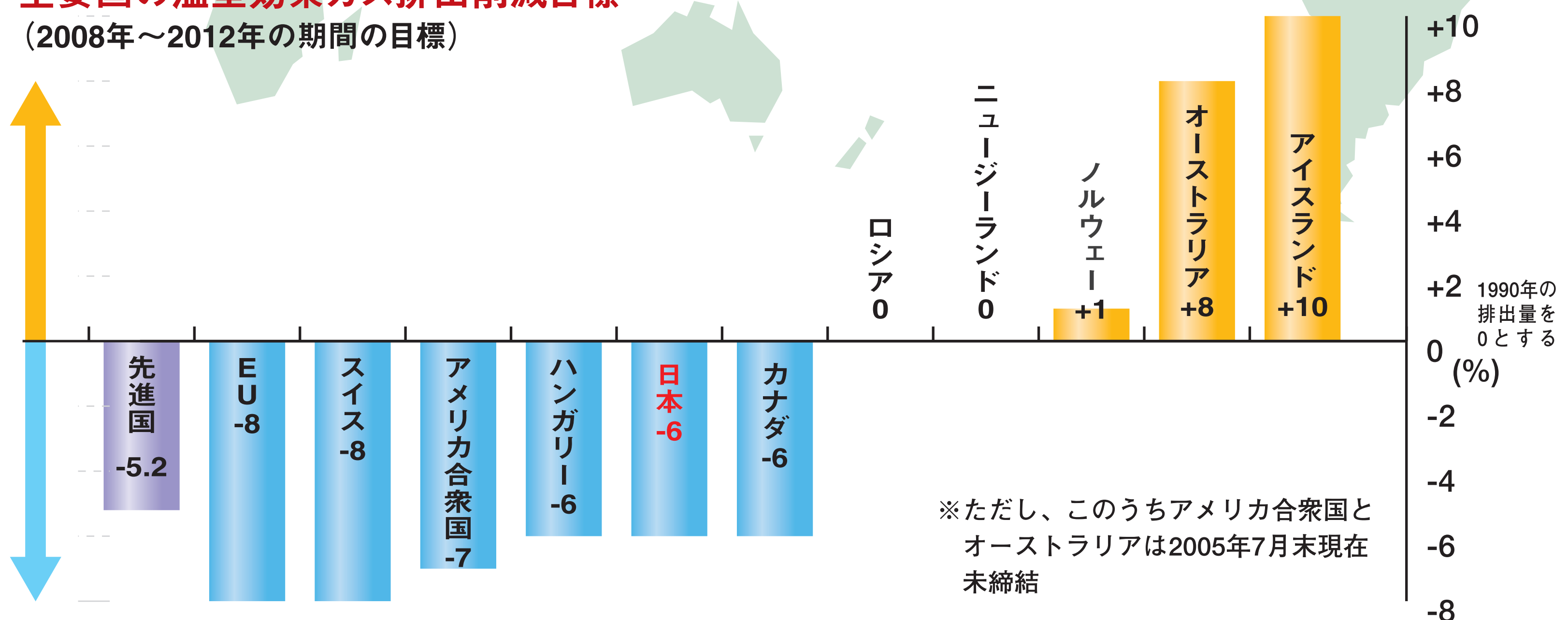
## ● 削減基準年 1990年（HFC、PFC、SF6については、1995年）

## ● 目標達成期間 2008年から2012年

## ● 削減目標 先進国全体で5.2%削減（各国の目標は以下のとおり）

（-6%の場合の考え方：削減基準年の排出量×5年×0.94＞2008～2012年の排出量）

京都会議で決められた  
主要国の温室効果ガス排出削減目標  
(2008年～2012年の期間の目標)



京都議定書でいうEUとは、当時の加盟15カ国…ドイツ・イギリス・イタリア・フランス・スペイン・オランダ・ベルギー・ギリシャ・オーストリア・ポルトガル・フィンランド・スウェーデン・デンマーク・アイルランド・ルクセンブルク

## ● その他 削減目標の達成方法など

### 1. 森林の炭素排出量と吸収量（吸収源）の算入

・1990年以降の新規の植林・再植林、森林減少による炭素の排出量と吸収量を算入できる。

### 2. 京都メカニズム（共同実施、クリーン開発メカニズム、排出量取引）の利用

・削減目標を国内の対策だけではなく他の国に出資して削減したものや、削減した排出量を売買できる制度

全国地球温暖化防止活動推進センター

<http://www.jccca.org>

JCCCA  
Japan Center for Climate Change Actions